

## 【講義概要】

1990年代後半苦境に陥っていた当社、日産自動車はカルロス ゴーン CEO の元、劇的な業績回復を果たしたが、グローバルな経営基盤の確立を支えるグローバル人財開発の仕組みについて説明する。

### 1) 日産自動車会社概要

当社の概要・グローバルな事業展開について

### 2) 中期計画推移

再生から現在に至る3つの中期計画、「日産リバイバルプラン」、「日産180」、「日産バリューアップ」

### 3) 人事制度

変革期における人事制度の改革について、会社の再建が最重要課題であり、その中で「コミットメント&ターゲット」、即ち「達成責任を負う」という文化を醸成させることが、当時の人事の最優先課題として位置付けられていた。その中で、日産がどのような人事制度(部課長層、一般層)を導入したかについて概要を説明する。

### 4) 人財開発

継続的な利益ある成長を目指すべく、2002年度から本格的な人財開発投資を再開した。

人財開発は、層別に段階的にかつ計画的に実施されてきているが、グローバルにビジネスの中心的役割を果たすリーダー層の育成に向けての取り組みを中心に概要を説明する。

### 5) 「持続的な成長」を支える人事・人財開発戦略

将来にわたって成長を続けていくためには「人財」の育成とその活用が大きな鍵であるが、グローバル化の一層の進展とともに「日産ウェイ」の浸透や「ダイバーシティー(性)」、及び「個々人におけるキャリア自律の必要性」などの人事・人財開発の取り組みについて幾つか紹介する。

以上